

中部大の教育を考えるしゃべり場～FDカフェ～

大学教育研究センター副センター長 経営学科 教授 寺澤朝子



本学のFD活動の新企画として、FDカフェがスタートした。授業運営の方法などの悩みを相談したり、大学教育に関して最近気になっていることなどを教職員が一緒になって自由に話せる場があったら良いと思いませんか？

平成25年3月11日の午後2時から4時まで、第1回FDカフェが開催された。「大人数授業の運営」というテーマで、応用生物学部の大塚健三先生に話を提供していただき、参加者が約6人ずつで2つのテーブルに分かれ、コーヒーやお菓子を楽しみながら、授業運営について自由に語り合った。

大塚先生に提供していただいた授業運営のヒントをここで少しご紹介しよう。先生は、初回の授業から毅然とした態度で、私語や携帯電話や飲食についての禁止事項を説明し、受講ルールを数週間かけて学生に徹底する。授業内容については、ほとんどの学生が知っている内容を10～20%、学部・学科にふさわしい内容を50～70%、最後の10～20%は最新の研究成果を分かりやすく説明して学問の面白さを伝えようと努力しているそうである。90分間学生が集中して授業に取り組めるように、途中でリフレッシュの時間をつくり、授業に関連する「マジックアイ」や「簡単なクイズ」を行い、私語解禁の時間をあえて設けている。

授業運営のヒントをご紹介いただいた後は、教員・職員の参加者が授業の仕方や学生への対応など、普段感じて

いることについて話題は尽きることなく盛り上がり、あっという間に終了時間となった。最後に、それぞれのテーブルで話し合われた内容を共有して、初回のFDカフェは無事終了した。

FDカフェは、昨年度全学FD委員会承認された新しい企画である。本学では、平成20年度以降、『魅力ある授業づくり』というFD活動重点目標のもと、「授業サロン」や「教員キャリアアッププログラム」を実施してきた。「授業サロン」では教員同士で授業運営に関するピア・レビューを行い、「教員キャリアアッププログラム」では特定の授業スキルや学生応対等に関する主にワークショップ形式のプログラムを数多く開催している。FDカフェは従来からあるプログラムに加えて、本学の教育に関わる身近なテーマや大学教育に関するタイムリーな話題について話し合い、情報を共有する場として誕生した。

ところで、皆さんは、「ループリック評価」という言葉をご存じだろうか。ループリック評価とは、教育の質を保証するために平成24年8月の中央教育

審議会答申でも引き合いに出されているが、教育目標に基づく評価基準にどの程度到達しているかを測る評価手法である。答申では、今後の大学教育の方向性を考える上で、「主体的な学修」をキーワードに、「教育の質保証のあり

方」「学生の学修時間の確保」の問題などについて提言がなされている。この答申を受けて、平成24年度に本学では3回にわたりFD講演会が開催された。講演では、学生のラーニング・ポートフォリオや教員のティーチング・ポートフォリオ作成などについてもご紹介いただいたが、ポートフォリオがどのようなものか、どのように教育に役立つのかについては、われわれ自らが作成にかかわることでその手法を理解し、活用していくほかはない。今ほど、われわれ現場の教員にとって新たに知っておくべきことが多い時代はないのではなからうか。

大学を取り巻く状況を踏まえ、教職員の自己啓発を促す場として、特定のテーマについて情報交換や意見交換を行って情報を共有する場、それが「FDカフェ」である。今後も高等教育に関するさまざまなテーマを設定して、年に4～5回程度実施する予定である。自由に気軽に参加していただくため、少人数のグループディスカッションをベースに進めていきたいと考えている。教員や職員の方々には、FDカフェにご関心を持っていただき、ぜひ積極的にご参加いただきたい。また、「こういった話題を取り上げてほしい」といった希望やご自身による話題提供も大歓迎である。

さあ、中部大学の教育について、一緒に楽しく語り合しましょう。カフェでお待ちしております。



第1回FDカフェ